

2007 年中堅・中小企業の IT 投資動向に関する実態調査報告

ノークリサーチ（本社〒120-0034 東京都足立区千住 1-4-1：代表伊嶋謙二 03-5244-6691、URL: <http://www.norkresearch.co.jp>）では 2007 年中堅・中小企業の IT 導入実態調査を実施し、その分析結果を発表した。

本リリースは、サーバ導入済の中堅・中小企業における IT ソリューションの導入実態と、今後のサーバ導入計画について調査を行い、分析したものである。結果は、中堅・中小企業はサーバの導入には前向きだが、旧システムのリプレースが主目的で内部統制などの経営的な課題への対応は低い。アプリケーション導入状況は劇的な変化は少なく、グループウェアや DWH など情報系ソリューションに大きな関心が集まっている。

<中堅・中小企業の IT 投資動向に関する実態調査のポイント>

- サーバの導入に関して、約 6 割が「導入に前向き」
 - ⇒ 年商 100 億円以上では 67.2%が「導入に前向き」だが、10 億円未満では 52.4%が「導入予定はない」となっており、企業規模別に大きな格差が見られる
- 導入の目的は「現システムの入替え」や「OS のアップグレード」が約 3 割
- サーバ導入予定メーカーは NEC が 30.0%でトップだが、日本 HP が躍進
- 基幹系では財務・会計などが 8 割を超える導入率、ERP は成長の余地がある
- 情報系はグループウェアが 63.5%と高い導入率、他のソリューションにも関心度が高い
- 伸びない戦略系ソリューション、導入率は 1 割程度と大勢に影響なし

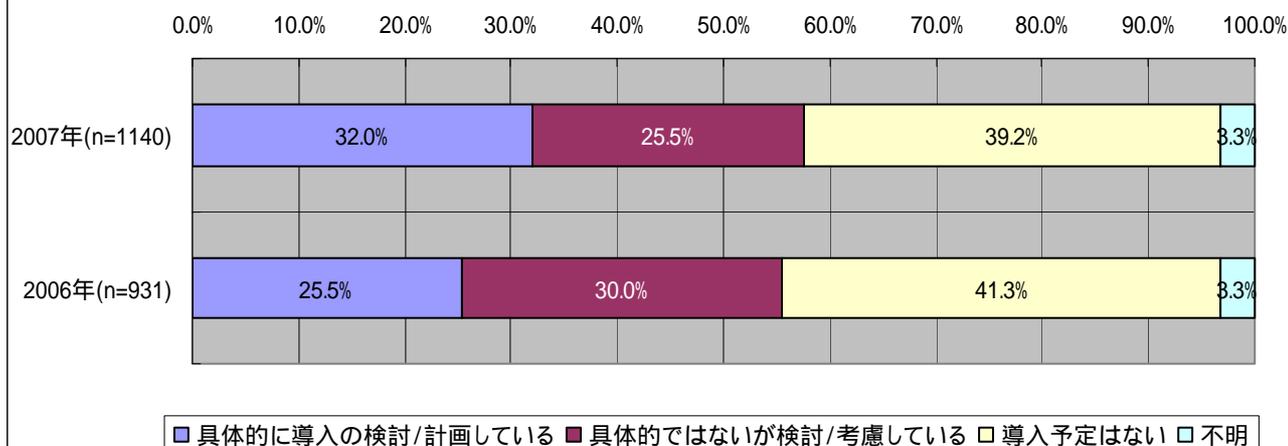
対象企業：全国の民間企業（年商 5 億円以上 500 億円未満）。有効回答数 1140 社
 調査方法：郵送アンケート 調査分析期間：2007 年 1 月～5 月

—今後の IT 投資意向—

■ 導入予定ありは約 6 割

サーバ導入予定については、「具体的に導入の検討/計画している」が 32.0%、「具体的ではないが検討/考慮している」が 25.5%と導入に前向きな割合が合計で過半数を超えている。「導入予定はない」は 39.2%だった。06 年と比較すると、具体的な導入意欲が 6.5 ポイント高まっており、回復基調にあるといえる。

サーバ導入予定

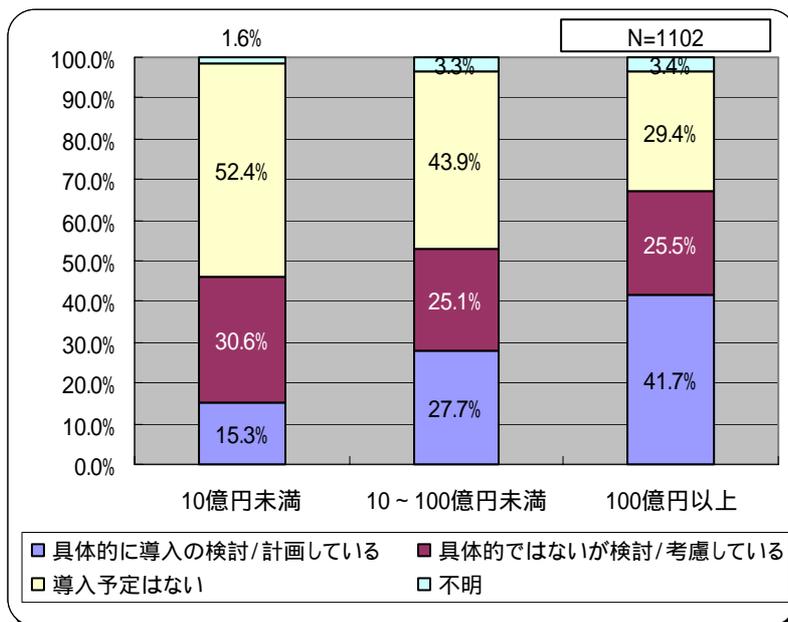


■ 年商 100 億円以上では 67.2%が「前向き」だが、年商 10 億円未満では 52.4%が「予定なし」

サーバ導入予定について、年商規模別に見てみると大きな格差がある。

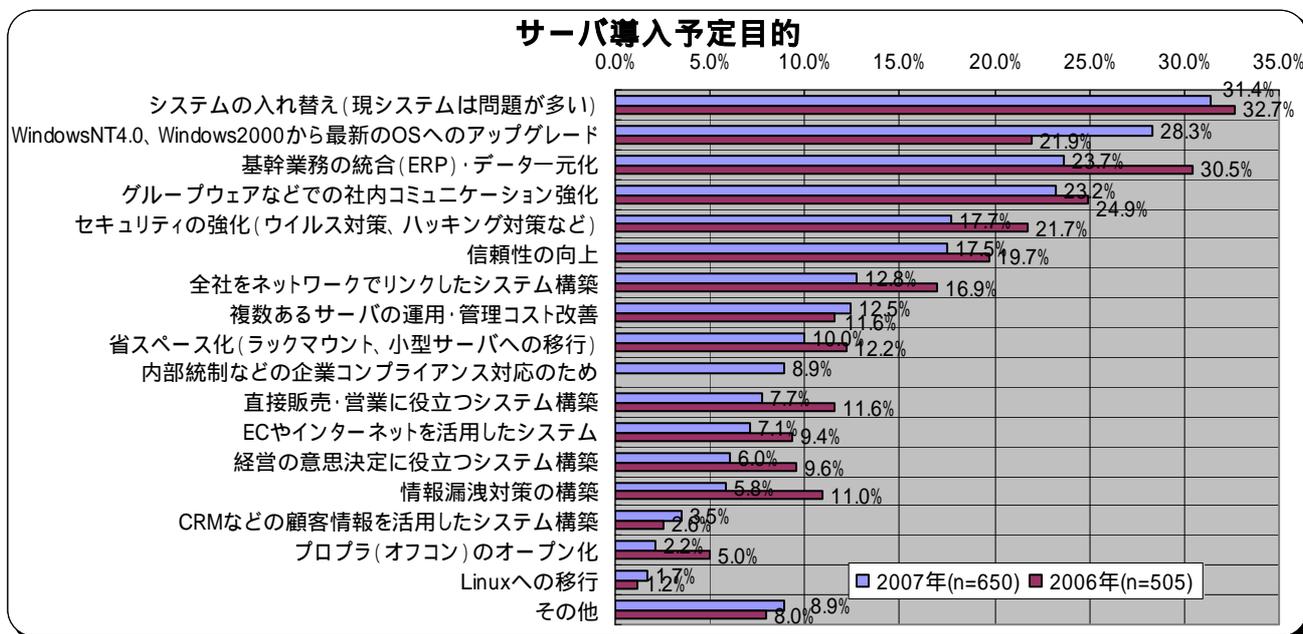
今後サーバの導入を「具体的に検討/計画している」もしくは「具体的ではないが、検討考慮している」が、年商 10 億円未満で 45.9%、10~100 億円未満の企業で 52.8%、100 億円以上の企業で 67.2%と、「年商規模が大きな会社であるほど投資意向も高い」という結果が明らかに出ている。

サーバ導入を予定している企業全体では 57.5%となっており、100 億円以上は全体平均より 9.7 ポイント高い。一方、10 億円未満は全体平均より 11.6 ポイントも低く、むしろ「導入予定はない」が 5 割以上である。この理由としては IT リテラシの格差や、まだら模様といわれる中小企業の景気が影響していることが推察される。



■ 導入予定の目的は WindowsNT/2000 から Windows2003 のアップグレード需要が旺盛

サーバ導入予定目的は、「システムの入替え（現システムは問題が多い）」が 31.4%と最も多く、「WindowsNT4.0、Windows2000 から最新の OS へのアップグレード」28.3%、「基幹業務の統合 (ERP)・データ一元化」23.7%、「グループウェアなどでの社内コミュニケーション強化」23.2%が続く形だ。

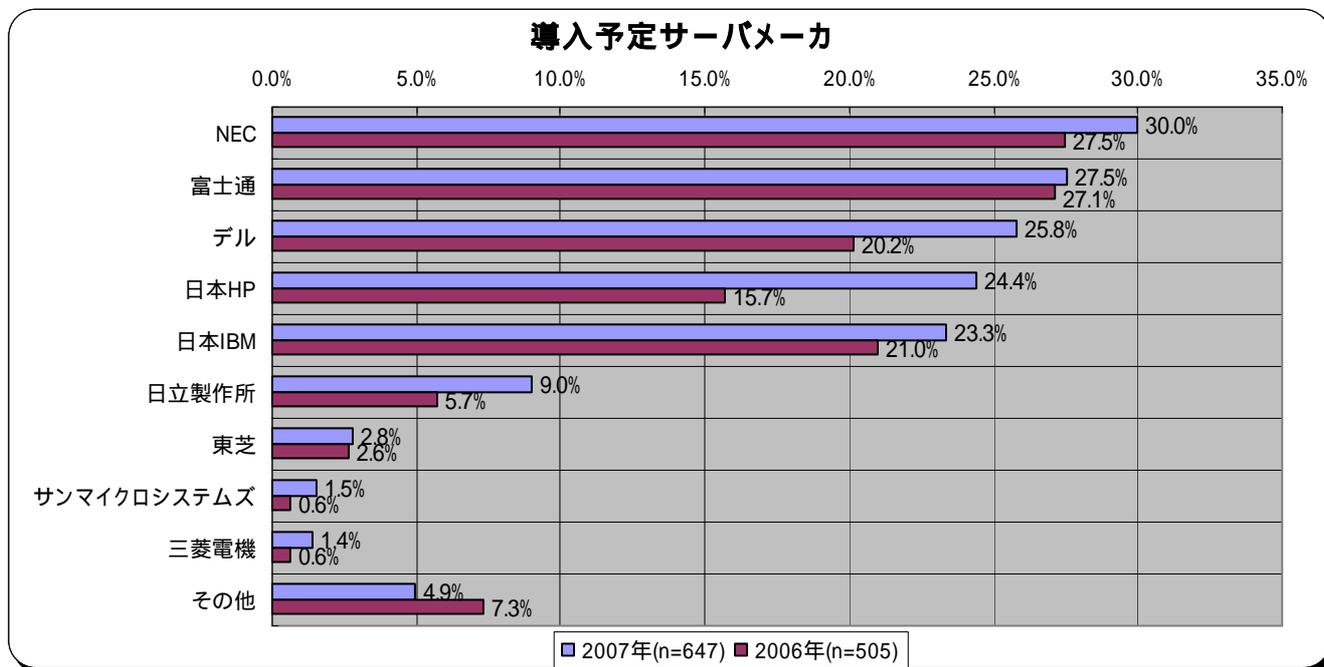


06 年と比較すると、「最新の OS へのアップグレード」が昨年より 6.4 ポイント増えており、「システムの入替え」を含めて、古いシステムの入替え目的が 6 割弱となる。今回調査から追加された「内部統制などの企業コンプライアンス対応」は 8.9%となっている。

他の注目点は旧 WindowsNT/2000 から Windows2003 への OS アップグレードが昨年比 6.4 ポイント増加しているところである。他の項目はほぼ前年割れである事からも、この数値は一つのキーポイントとなる。つまり 07 年は旧 OS から最新 OS へ、Windows Server OS の入替えが促進される年になるであろう。

■ 導入予定のメーカーは上位 5 社の大混戦だが、HP が躍進

導入予定サーバーメーカーは、トップが「NEC」で 30.0%、次いで「富士通」27.5%、「デル」25.8%となった。06 年から全体的に漸増傾向だが、日本 HP が 8.7 ポイントとひととき大きく伸ばして日本 IBM を抜いている。現状のメーカーシェアと同様に上位 5 社にあまり差がなく、混戦市場に突入するだろう。



—IT ソリューションの導入状況について—

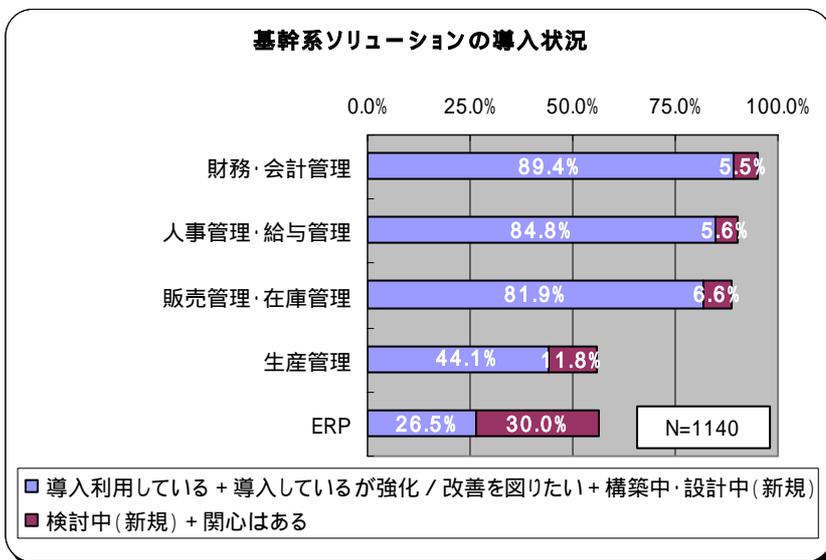
■ 基幹系業務ソリューションは高導入率、ERP に成長の余地がある

基幹系 IT ソリューションの導入状況は、「財務・会計管理」89.4%、「人事管理・給与管理」84.8%、「販売管理・在庫管理」81.9%と全体の導入割合が極めて高い結果となった。「生産管理」は全体で 4 割強と高くはない導入率だが、それは製造業に特化したソリューションであるからだ。グラフにはないが、製造業での導入率は 7 割を超えている。

全体の「検討中（新規）+ 関心はある」の割合は非常に低いことから、基幹系への新規ソリューション展開は既に飽和状態にある可能性が高い。

ERP に関して、現状は他の基幹系ソリューションに比べ低い導入率であり、「検討中（新規）+ 関心はある」

の割合が高い。関心度が高いということは、今後の導入余地が高い分野だといえる。



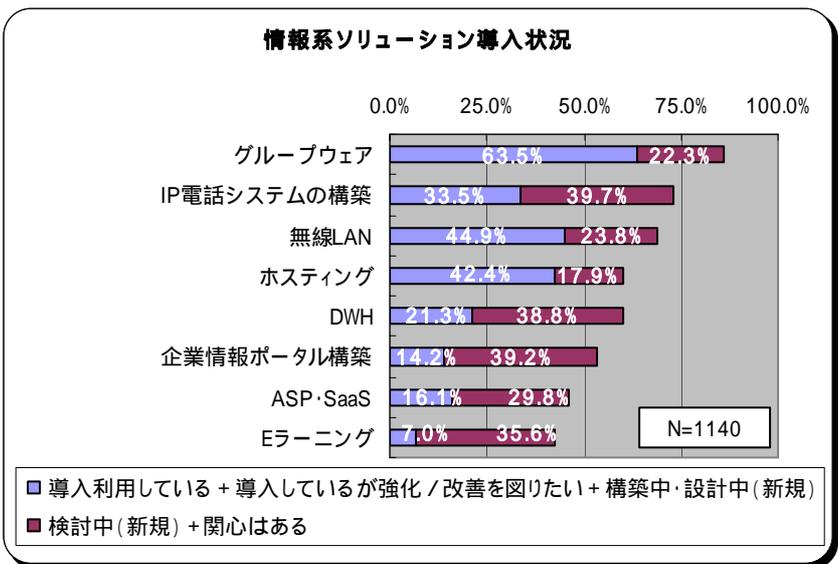
■ 情報系ソリューションはグループウェアが 6 割以上の導入率、他のソリューションも関心が高い

情報系ソリューションの導入状況はグループウェアが 63.5% の高導入率。その他のソリューションに関しても、全体的な導入率は低いものの、今後の関心度が非常に高い傾向があるのが情報系のソリューションの特徴である。

特にグループウェアに関しては「導入利用している + 強化/改善を図りたい + 構築中・設計中(新規)」が 85.8% になり、基幹系ソリューションに迫る数値になる。「検討中(新規) + 関心がある」が 22.3% あることから、情報系のデファクトソリューションとして、企業に根付くだろう。

またインフラ系のソリューション (IP 電話、無線 LAN) も導入率は 3~4 割程度であるが、6~7 割の企業が利用もしくは関心を持っている。今回から追加された ASP・SaaS の導入率は 16.1%、検討中は 29.8% とまずまずだ。

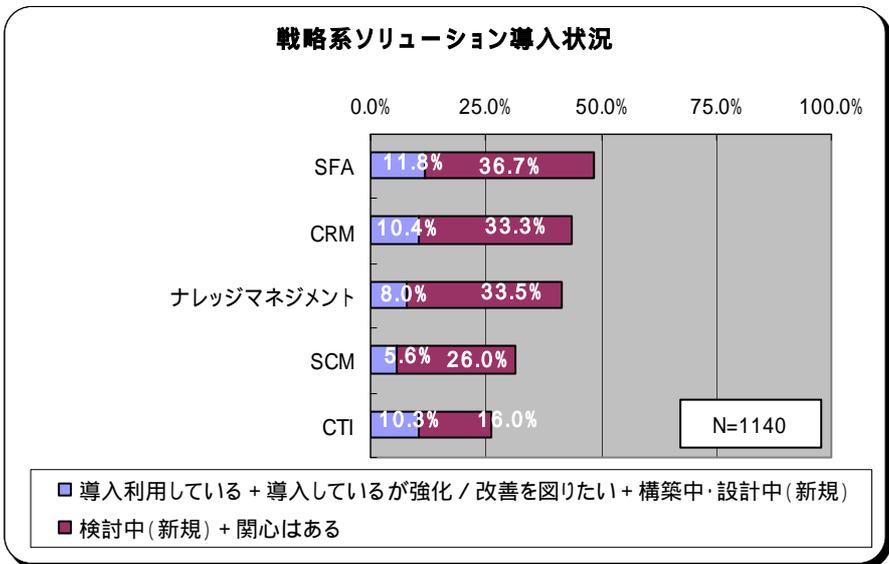
その他、情報系ソリューションも導入率は低い、関心度が他のソリューションに比べて高いのでこの分野での今後の成長は見込めるであろう。



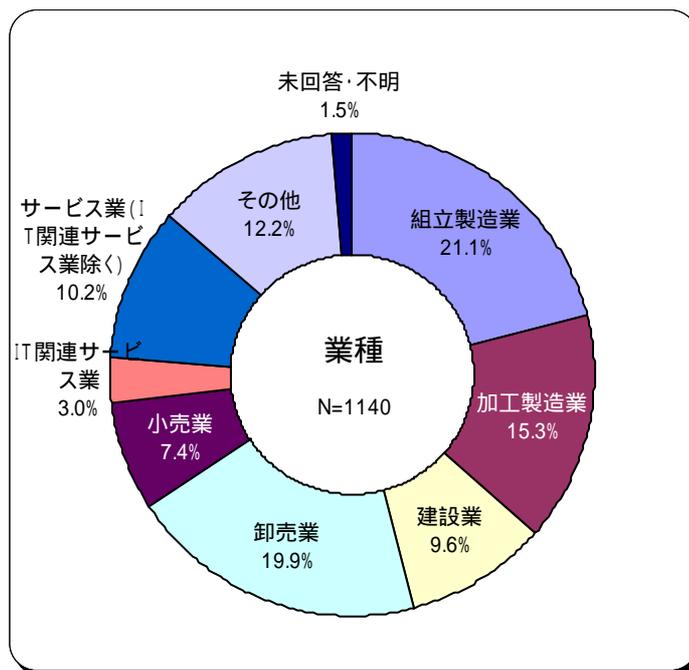
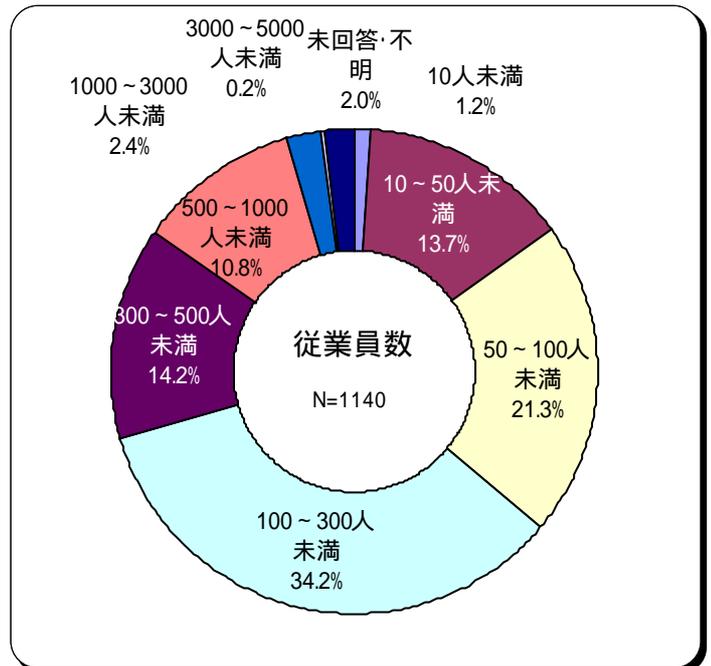
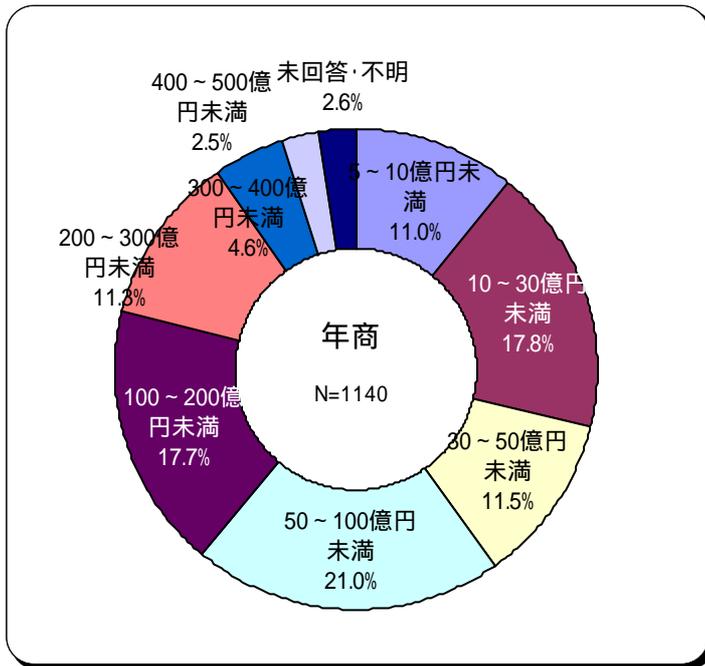
■ 戦略系アプリは 1 割前後の低導入率で変わらない傾向にある

10% 前後の低い実導入率なのが「SFA (11.8%)」、「CRM (10.4%)」、「SCM (5.6%)」、「CTI (10.3%)」などの戦略系アプリケーションだ。

結論としては、中堅・中小企業は基幹系、情報系アプリケーションは導入率が高いが、戦略系アプリケーションは導入率が低い、という従来と同様の傾向となっている。



—回答者属性—



当調査データに関するお問い合わせ



ノークリサーチ
 担当：伊嶋 謙二 (いしま)
 e-mail: pressr@norkresearch.co.jp
 〒120-0034 東京都足立区千住 1-4-1
 電話 5244-6691 FAX 5244-6692
[URL: http://www.norkresearch.co.jp](http://www.norkresearch.co.jp)